

商品名 型式
INTELIHEAT™ FLEXIPLUS IHF 型
ヒーティングジャケット

英 LMK サーモセーフ社製 **THERMO SAFE LTD** **Ex**

説明

日本国内防爆型式検定合格品。ドラム缶などの容器を加熱するヒーター

特長

安全増防爆構造の検定に合格しており、国内の危険場所でも使用可能です。ドラム缶やボンベ、IBC コンテナなど対象容器に合わせた様々な型式を用意しています。

用途

各種容器の加熱、保温用として広く使用されています。容器に巻き付けてクリップで留めるだけで、内容物を必要な温度まで加熱できます。ガス蒸気および粉じん危険場所（ゾーン 1, 2, 21, 22）で使用可能です。柔軟な構造により、取り付けが簡単です。高品質の断熱材により、熱損失を減らして効率を高め、同時にオペレーターを保護します。広い表面積に均一に熱を伝え、製品を損傷する可能性を最小限に抑えます。24 時間 365 日安全に使用できます。定期的なメンテナンスは不要です。調節可能な保持ストラップとクイックリリースバックルが付いています。

種類

- ・ **T4タイプ**
 穏やかに温めて粘度を下げます。冬場の凍結を防ぎます。サーモスタットは標準装備されておりませんが、ご要望により追加可能です。周囲温度より一定の温度を維持します。型式については、表 1 を参照してください。
- ・ **T3タイプ**
 より早く高速に加熱するのに最適です。サーモスタットを標準装備しています。型式については表 2 を参照してください。

表 1 T4 型番表

型番	電圧 V	サイズ	容量 W	外周 mm	高さ mm	周辺温度からの最大昇温 °C(240V)	周辺温度からの最大昇温 °C(200V)
IHF/A/T4	240	ペール缶 23L	90	870-1020	400	Δt40	Δt30
IHF/B/T4		ドラム缶 60L	130	1100-1250	460	Δt40	Δt30
IHF/C/T4		ドラム缶 100L	150	1400~1650	370	Δt40	Δt30
IHF/D/T4		ドラム缶 200L	540	1800~1950	850	Δt50	Δt35~40
IHF/G/T4		ボンベ 47L	100	685~830	1060	Δt30	Δt20
IHF/IBC/T4		IBC コンテナ 1000L	960	4060~4310	950	Δt20	Δt10~15

※電源 200V の時は出力が約 70%になります。

表 2 T3 型番表

型番	電圧 V	サイズ	容量 W	外周 mm	高さ mm	サーモスタット温度指定可能範囲 °C※1	20°Cからの最大昇温 °C(200V)※2
IHF-R/A/T3	240	ペール缶 23L	160	870~1020	400	0~85	Δt55
IHF-R/B/T3		ドラム缶 60L	275	1100~1250	460	0~85	Δt55
IHF-R/C/T3		ドラム缶 100L	295	1400~1650	370	0~85	Δt55
IHF-R/D/T3		ドラム缶 200L	685	1800~1950	850	0~85	Δt55
IHF-R/G/T3		ボンベ 47L	285	685~830	1060	0~85	Δt55
IHF-R/IBC/T3		IBC コンテナ 1000L	1620	4060~4310	950	0~65	Δt35

※1 電源 200V の時は出力が約 70%になるため、サーモスタットの最大設定温度まで到達しない可能性があります。

※2 周辺温度は 20°C を想定しており、それより低い場合は最高温度に到達しない可能性があります。

[金属加熱ヒーター取扱上の注意](#)をお読みください。

仕様

電源：単相 ~AC240V、50/60Hz
 材質：耐薬品性シリコンコーティングガラスクロス外装
 高密度ガラスファイバー断熱材

防爆構造の種類：安全増防爆構造、容器による粉塵防爆構造

対象ガス又は蒸気の IIC T4/T3 Gb

発火度及び爆発等級 III C T135°C/T200°C Db

製品上の Ex マーキング：Ex eb IIC T4/T3 Gb

Ex tb III C T135°C/T200°C Db

-20°C~+40°C

型式検定合格番号：CML 22JPN3080X

感電保護クラス：クラス II

密閉保護等級：IP54

周辺温度範囲：-20°C~40°C

使用場所：屋内(屋外の場合はご相談ください)

写真



写真1 各種ヒーティングジャケット

特注品

200V の電源で 240V 相当の出力を得たい場合は特注となります。日本ヒーター営業部にお問い合わせください。

注意

防爆を含め各種規制、消防法や高圧ガス保安法等に該当するかについては各社でご確認をお願い致します。